伊豆東部火山群/沼津河川国道事務所工務第一課

伊豆東部火山群の噴火に対する緊急減災計画の取り組み

◆伊豆東部火山群とは

伊豆東部火山群は、伊豆半島東部に位置する東伊豆単成火山群及び、その東方海底に広がる東伊豆沖単成火山群の総称である（図1）。観光地として知られる大室山も本火山群を代表する火山であり、約4000年前の噴火で形成された。平成元年7月13日には、伊東市沖の手石海丘で**有史以来初の噴火**があった（写真1）。

伊豆東部火山群の火山噴火緊急減災対策砂防計画は、国と県が共同で平成28年度に設置した検討会で議論が行われ、平成30年には噴火影響範囲が見直され（図2）、平成31年3月に**単成火山群としては日本で初めて**となる計画を策定した。

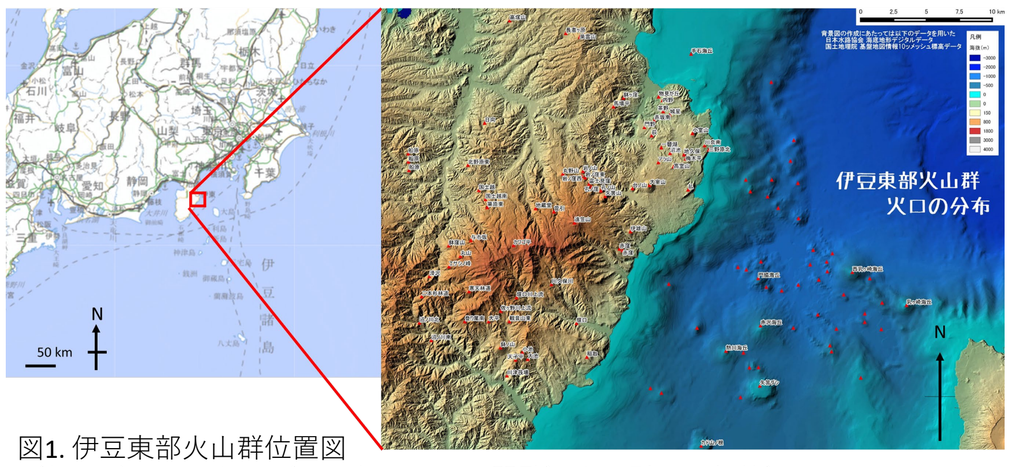

図1. 伊豆東部火山群位置図
（伊豆ジオパークHP（2021年10月12日閲覧）より引用・加筆）

写真1.平成元年7月13日の伊東沖での噴火
（海上保安庁撮影，日本活火山総覧(第４版)より引用）

◆計画策定経緯

- 平成28年2月　火山災害警戒地域に指定
- 平成29年1月　伊豆東部火山群火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会設置
- 平成31年3月　火山噴火緊急減災対策砂防計画策定

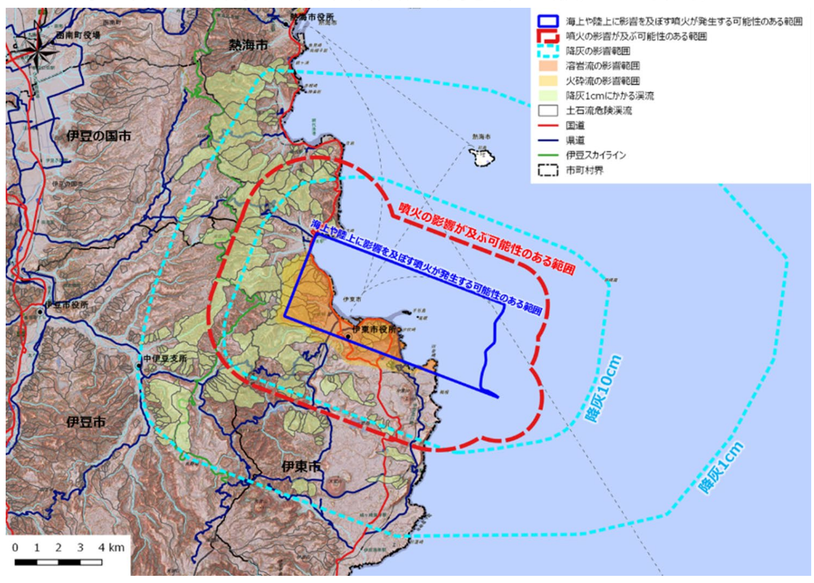

図2. 噴火影響範囲

◆ 事務所としての近年の取り組み

- **降灰（噴火）後の土石流の被害想定区域図作成**
  →対策優先度の高い渓流を対象に土石流シミュレーションを行い、計算結果に基づく被害想定区域図を作成（図3）。
- **緊急時のソフト対策（図4）に関するタイムライン検討**
  →緊急時に実施するソフト対策について火山活動の推移に合わせたタイムライン及びチェックリストを検討（図5）。
  →国土交通省で整備を進めているリアルタイムハザードマップシステムの説明会への参加。
- **関係行政機関で構成される連絡会議の実施**
  →国や県、市職員や大学教授を招き、各種取組の進捗状況報告や火山に関する勉強会（図6）を実施。
  （令和3年2月に第3回を開催）。

図3. 被害想定区域図の作成例

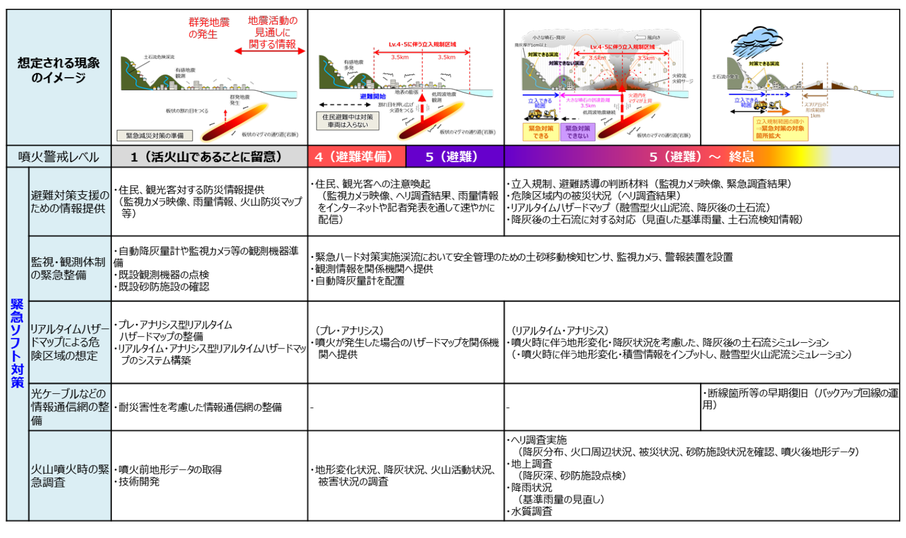

図4. 緊急時の各タイミングで実施すべきソフト対策の基本項目
（「伊豆東部火山群火山噴火緊急減災対策砂防計画【計画編】」（平成31年3月）より引用）

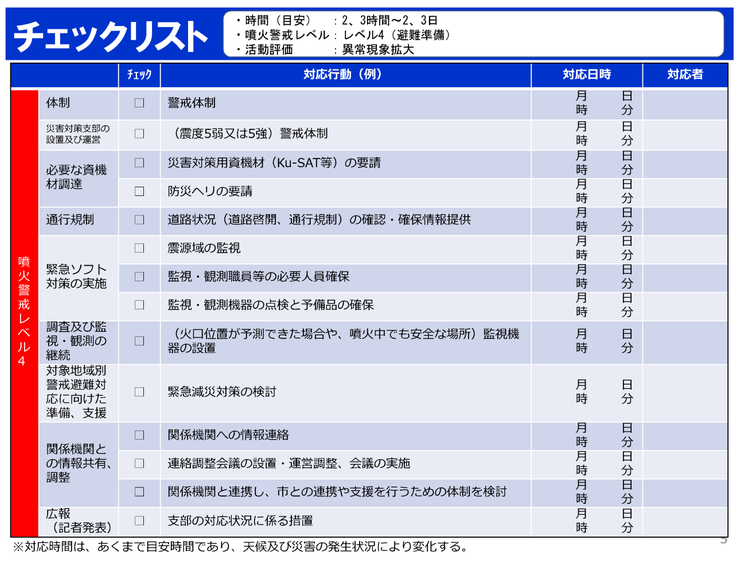

図5. 噴火警戒レベルごとの対応内容のチェックリスト（案）

図6. 伊豆東部火山群と同様に活火山が市街地に立地しているニュージランド　オークランドの火山防災に関する勉強会資料

◆今後の取り組み

計画の推進のため、とりまとめた緊急対策に係る具体的な取組内容を整理し、取組の実施主体と関係機関で調整・連携を図っていく。